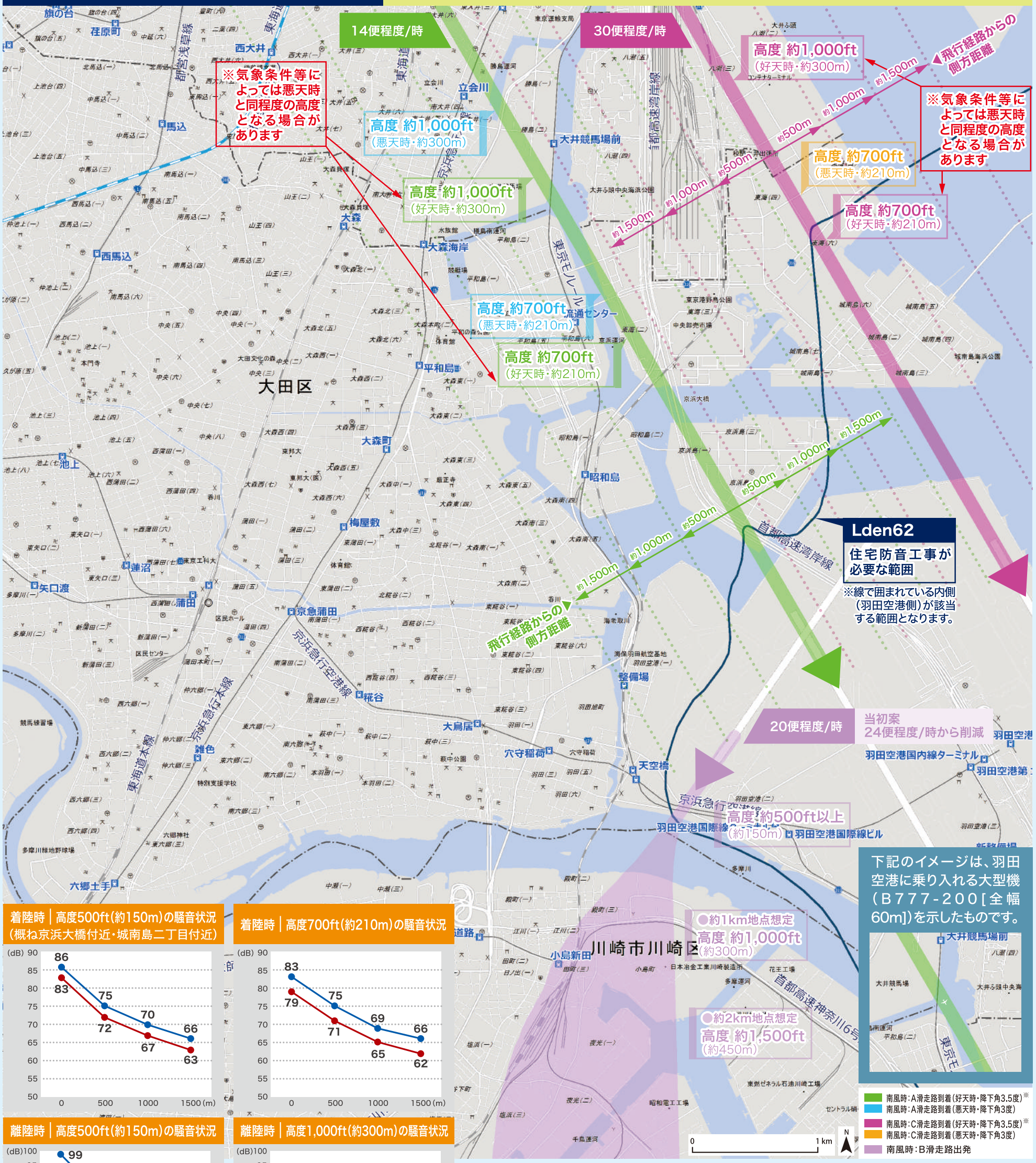
大田区上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（大田区上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです
※地図上に記載した各地点の高度（海抜）は好天時（降下角3.5度）、悪天時（降下角3度）での計算上の数値を示したものです

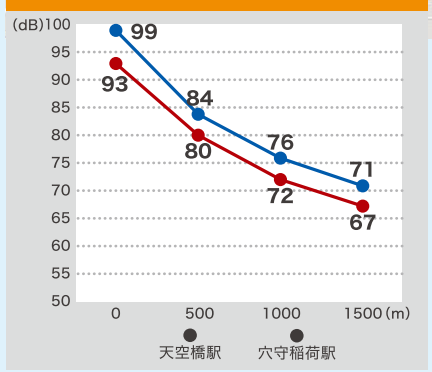


下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機（B777-200[全幅60m]）を示したものです。

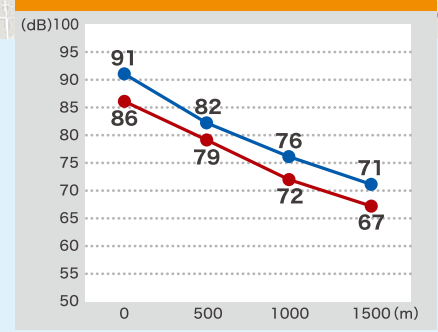
着陸時｜高度500ft（約150m）の騒音状況
（概ね京浜大橋付近・城南島二丁目付近）

着陸時｜高度700ft（約210m）の騒音状況

離陸時｜高度500ft（約150m）の騒音状況



離陸時｜高度1,000ft（約300m）の騒音状況



大型機（B777-300）　小型機（B737-800）

●上表は飛行経路直下を0mとし、そこからの側方距離と騒音の関係を示したグラフです。騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、地上観測点での騒音値※を推計した値です。
※航空機1機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●2つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、2つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（穴守稲荷神社付近）
平均値：約52dB
瞬間最大値：約77dB

●駅前（大森駅前）
平均値：約60dB
瞬間最大値：約77dB

●幹線道路（産業道路沿い）
平均値：約69dB
瞬間最大値：約87dB

※10分程度の簡易測定による参考値

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

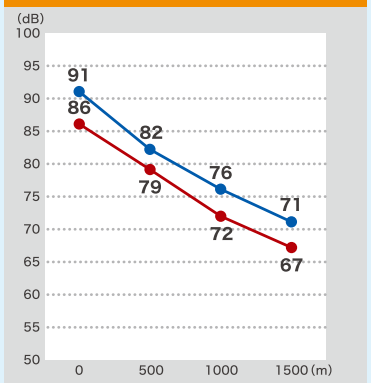
川崎市上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

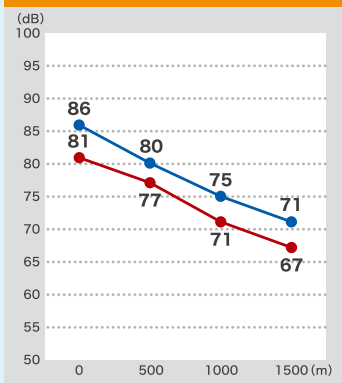
※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



離陸時 | 高度1,000ft（約300m）の騒音状況



離陸時 | 高度1,500ft（約450m）の騒音状況



●左表は飛行経路直下を０mとし、そこからの側方距離と騒音の関係を示したグラフです。騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、地上観測点での騒音値※を推計した値です。

※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。

●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。

●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。

※ デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。

大型機（B777-300）
小型機（B737-800）

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（殿町付近）
平均値：約50dB
瞬間最大値：約76dB

●駅前（小島新田駅前）
平均値：約55dB
瞬間最大値：約87dB

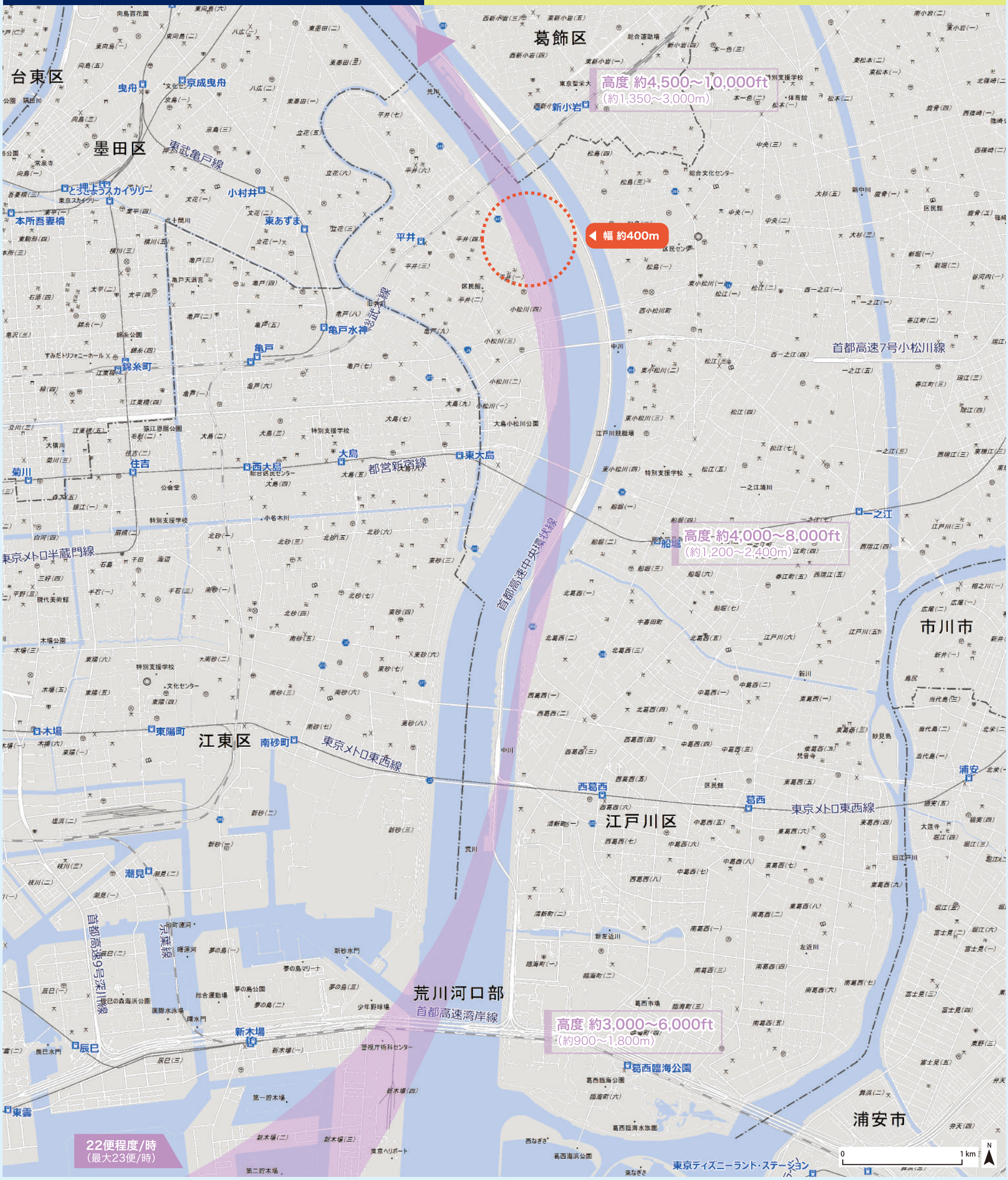
●幹線道路（浮島通り沿い）
平均値：約65dB
瞬間最大値：約85dB

※10分程度の簡易測定による参考値

江東区上空における北風時の新飛行経路

北風時の運用は、年間の約６割と推定
運用時間：７時～11時半、15時～19時（15時～19時については、切替時間を含むため実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



離陸時（経路直下）の騒音レベル（L_Amax[dB（デシベル）]）

高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
2,000ft（610m）	78	79	80	74	80	82
2,500ft（760m）	76	77	78	71	78	79
3,000ft（915m）	73	74	76	69	76	77
3,500ft（1,065m）	72	72	74	67	74	75
4,000ft（1,220m）	70	71	73	66	73	74
4,500ft（1,370m）	68	69	71	64	72	73
5,000ft（1,525m）	67	68	70	63	70	71
5,500ft（1,675m）	66	67	69	62	69	70
6,000ft（1,830m）	65	66	68	61	68	69

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（砂町銀座商店街付近）
平均値：約57dB
瞬間最大値：約66dB

●駅前（船堀駅前）
平均値：約63dB
瞬間最大値：約79dB

●幹線道路（葛西駅前）
平均値：約70dB
瞬間最大値：約81dB

※10分程度の簡易測定による参考値

- ●離陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
  ※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求 められる騒音のピーク値。
- ●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
- ●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

江戸川区上空における北風時の新飛行経路

北風時の運用は、年間の約６割と推定
運用時間：７時～11時半、15時～19時（15時～19時については、切替時間を含むため実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



離陸時（経路直下）の騒音レベル（L_Amax[dB（デシベル）]）

高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
2,000ft（610m）	78	79	80	74	80	82
2,500ft（760m）	76	77	78	71	78	79
3,000ft（915m）	73	74	76	69	76	77
3,500ft（1,065m）	72	72	74	67	74	75
4,000ft（1,220m）	70	71	73	66	73	74
4,500ft（1,370m）	68	69	71	64	72	73
5,000ft（1,525m）	67	68	70	63	70	71
5,500ft（1,675m）	66	67	69	62	69	70
6,000ft（1,830m）	65	66	68	61	68	69

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（砂町銀座商店街付近）
平均値：約57dB
瞬間最大値：約66dB

●駅前（船堀駅前）
平均値：約63dB
瞬間最大値：約79dB

●幹線道路（葛西駅前）
平均値：約70dB
瞬間最大値：約81dB

※10分程度の簡易測定による参考値

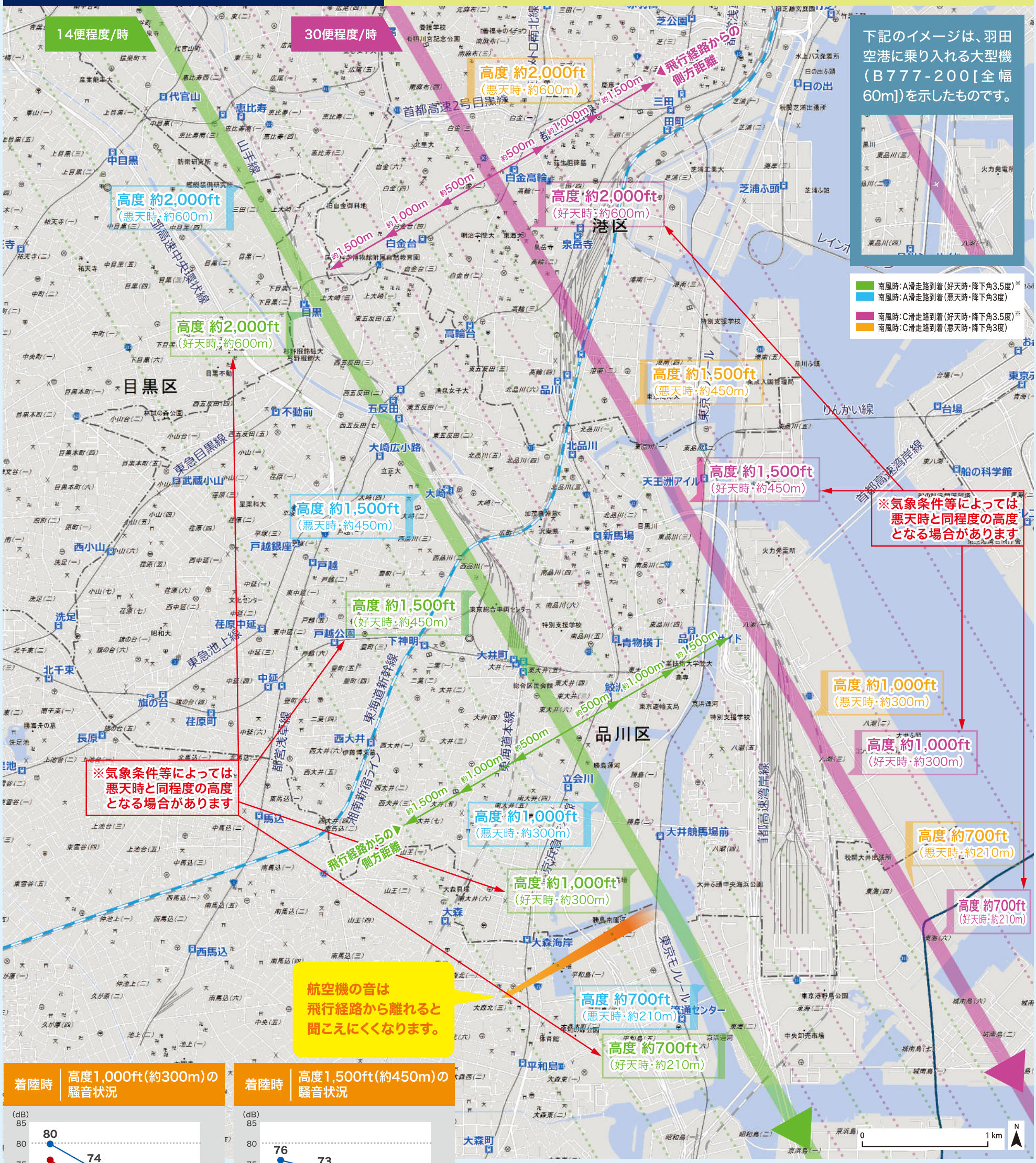
●離陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求 められる騒音のピーク値。
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

品川区上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（品川区上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

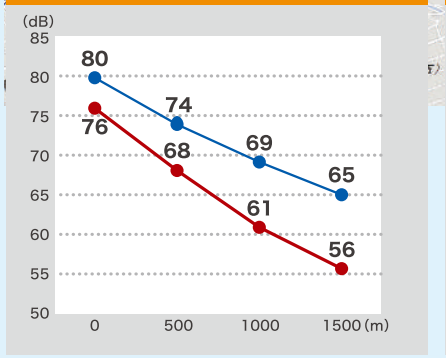
※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです
※地図上に記載した各地点の高度（海抜）は好天時（降下角3.5度）、悪天時（降下角3度）での計算上の数値を示したものです



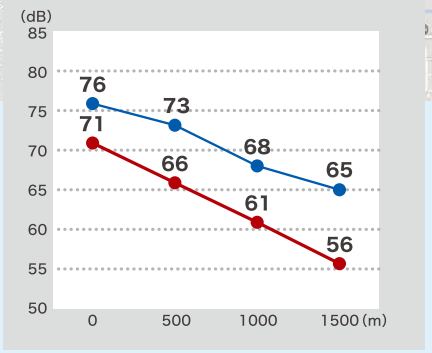
下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機（B777-200[全幅60m]）を示したものです。

南風時：A滑走路到着（好天時・降下角3.5度）※
南風時：A滑走路到着（悪天時・降下角3度）
南風時：C滑走路到着（好天時・降下角3.5度）※
南風時：C滑走路到着（悪天時・降下角3度）

着陸時｜高度1,000ft（約300m）の騒音状況



着陸時｜高度1,500ft（約450m）の騒音状況



大型機（B777-300）　小型機（B737-800）

●上表は飛行経路直下を0mとし、そこからの側方距離と騒音の関係を示したグラフです。騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、地上観測点での騒音値※を推計した値です。
※航空機1機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●2つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、2つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（八潮パークタウン付近）
平均値：約52dB
瞬間最大値：約72dB

●駅前（大井町駅前）
平均値：約61dB
瞬間最大値：約77dB

●幹線道路（第一京浜沿い）
平均値：約64dB
瞬間最大値：約86dB

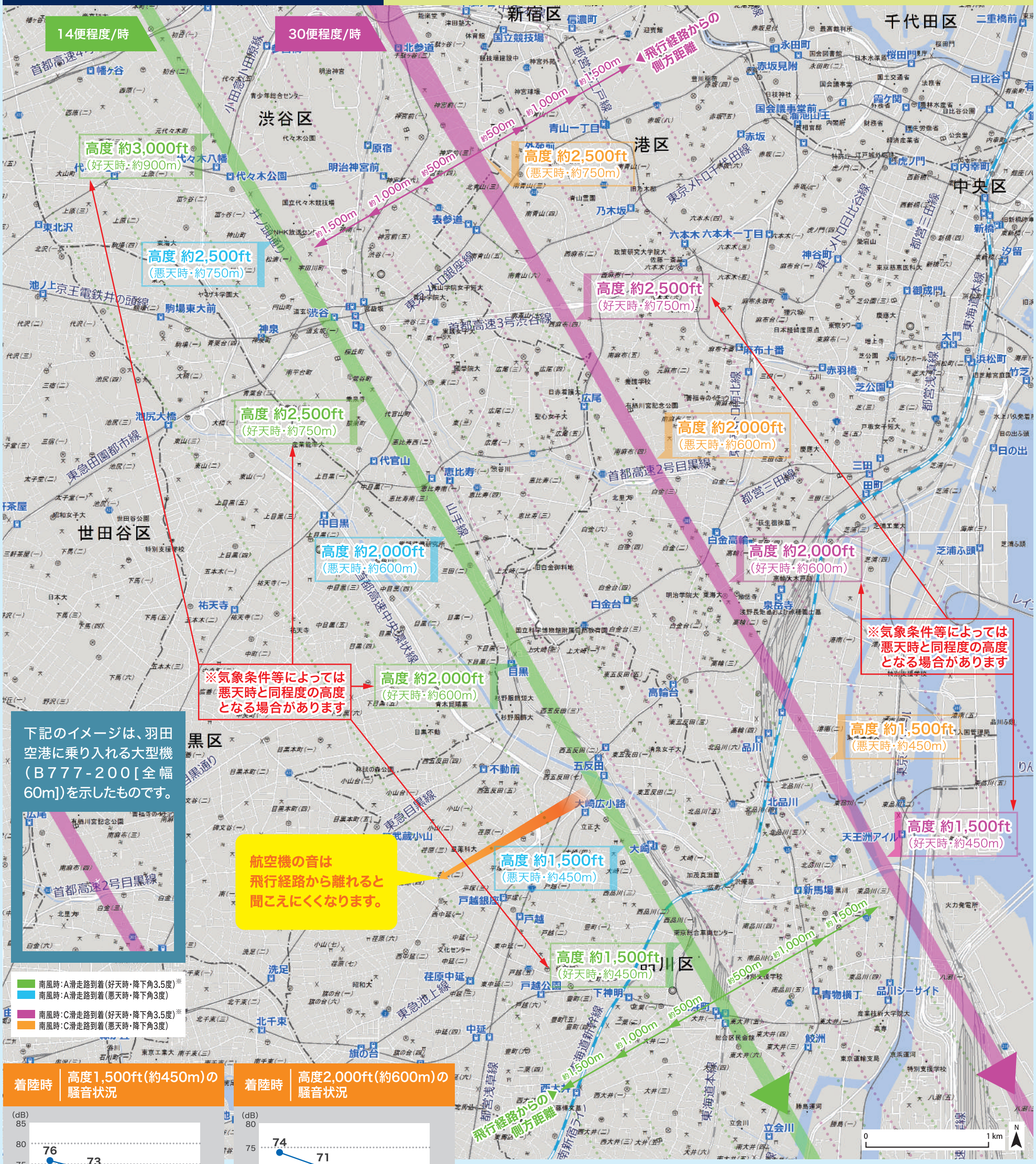
※10分程度の簡易測定による参考値

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

港区上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（港区上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

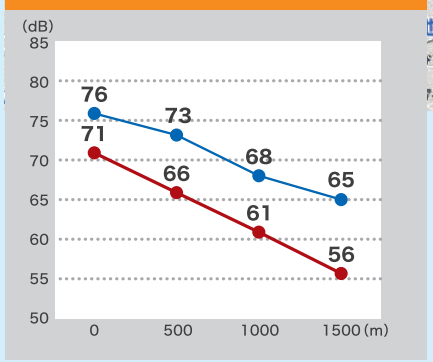
※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです
※地図上に記載した各地点の高度（海抜）は好天時（降下角3.5度）、悪天時（降下角３度）での計算上の数値を示したものです



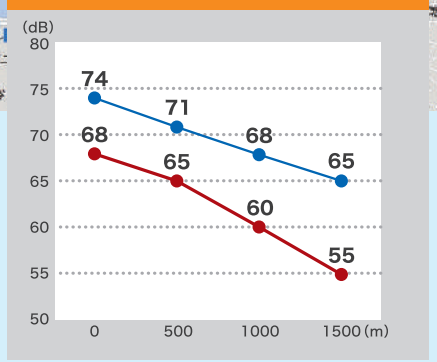
下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機（B777-200[全幅60m]）を示したものです。

南風時：A滑走路到着（好天時・降下角3.5度）※
南風時：A滑走路到着（悪天時・降下角3度）
南風時：C滑走路到着（好天時・降下角3.5度）※
南風時：C滑走路到着（悪天時・降下角3度）

着陸時　高度1,500ft（約450m）の騒音状況



着陸時　高度2,000ft（約600m）の騒音状況



大型機（B777-300）　小型機（B737-800）

●上表は飛行経路直下を0mとし、そこからの側方距離と騒音の関係を示したグラフです。騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、地上観測点での騒音値※を推計した値です。
※航空機1機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●2つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、2つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（目黒区三田付近）
平均値：約49dB
瞬間最大値：約79dB

●駅前（品川駅前）
平均値：約65dB
瞬間最大値：約86dB

●幹線道路（桜田通り沿い）
平均値：約61dB
瞬間最大値：約77dB

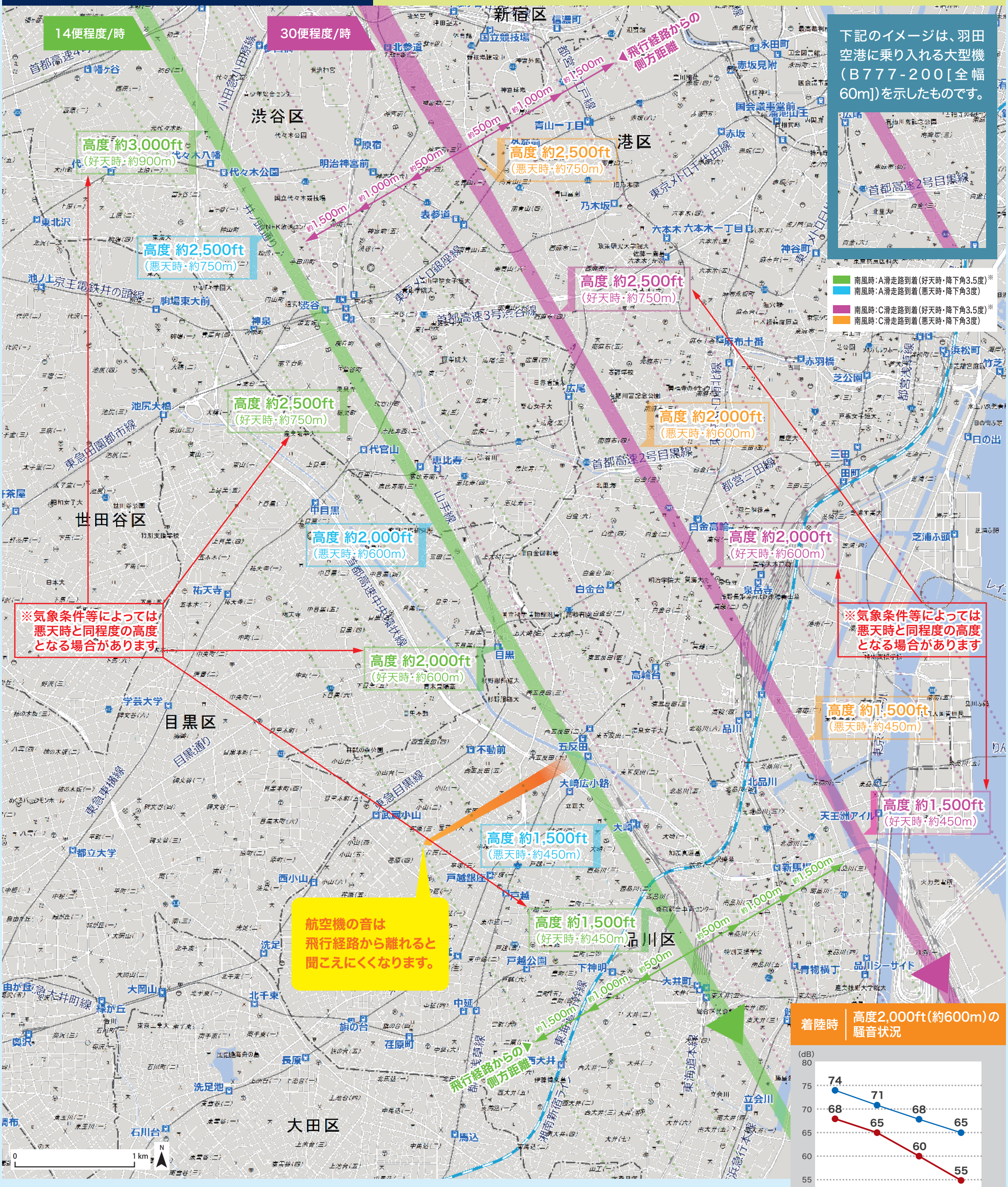
※10分程度の簡易測定による参考値

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

目黒区上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（目黒区上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

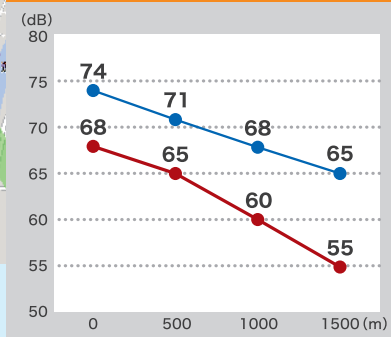
※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです
※地図上に記載した各地点の高度（海抜）は好天時（降下角3.5度）、悪天時（降下角３度）での計算上の数値を示したものです



下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機（B777-200[全幅60m]）を示したものです。

南風時：A滑走路到着（好天時・降下角3.5度）※
南風時：A滑走路到着（悪天時・降下角3度）
南風時：C滑走路到着（好天時・降下角3.5度）※
南風時：C滑走路到着（悪天時・降下角3度）

着陸時　高度2,000ft（約600m）の騒音状況



大型機（B777-300）
小型機（B737-800）

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（目黒区三田付近）
平均値：約49dB
瞬間最大値：約79dB

●駅前（品川駅前）
平均値：約65dB
瞬間最大値：約86dB

●幹線道路（桜田通り沿い）
平均値：約61dB
瞬間最大値：約77dB

※10分程度の簡易測定による参考値

●上表は飛行経路直下を0mとし、そこからの側方距離と騒音の関係を示したグラフです。騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、地上観測点での騒音値※を推計した値です。
※航空機1機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。

●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。

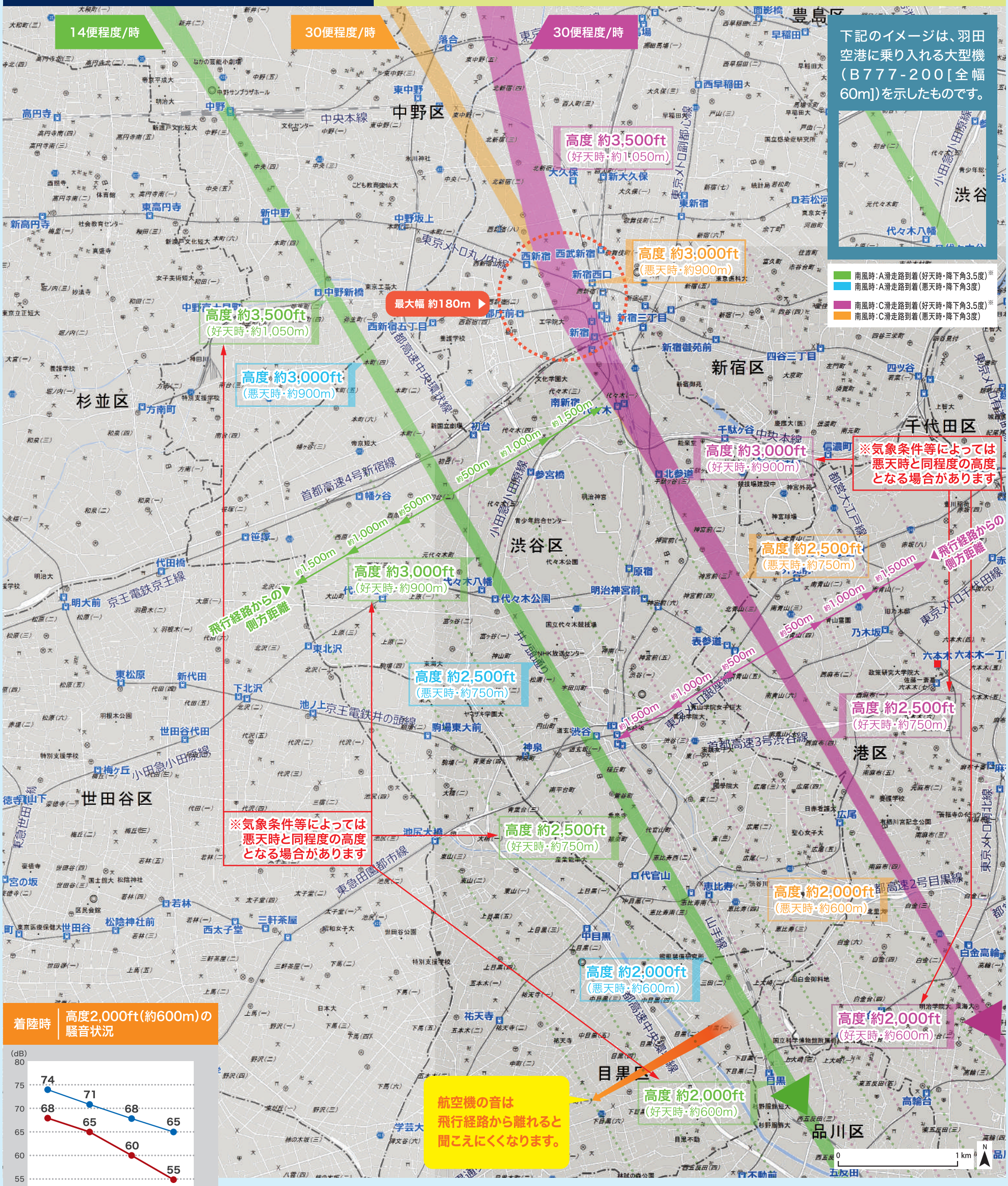
●2つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、2つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

渋谷区上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（渋谷区上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです
※地図上に記載した各地点の高度（海抜）は好天時（降下角3.5度）、悪天時（降下角3度）での計算上の数値を示したものです



下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機（B777-200[全幅60m]）を示したものです。

- 南風時：A滑走路到着（好天時・降下角3.5度）※
- 南風時：A滑走路到着（悪天時・降下角3度）
- 南風時：C滑走路到着（好天時・降下角3.5度）※
- 南風時：C滑走路到着（悪天時・降下角3度）

●上表は飛行経路直下を0mとし、そこからの側方距離と騒音の関係を示したグラフです。騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、地上観測点での騒音値※を推計した値です。
※航空機1機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。

●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。

●2つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、2つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（西新宿付近）
平均値：約53dB
瞬間最大値：約71dB

●駅前（新宿駅前）
平均値：約71dB
瞬間最大値：約87dB

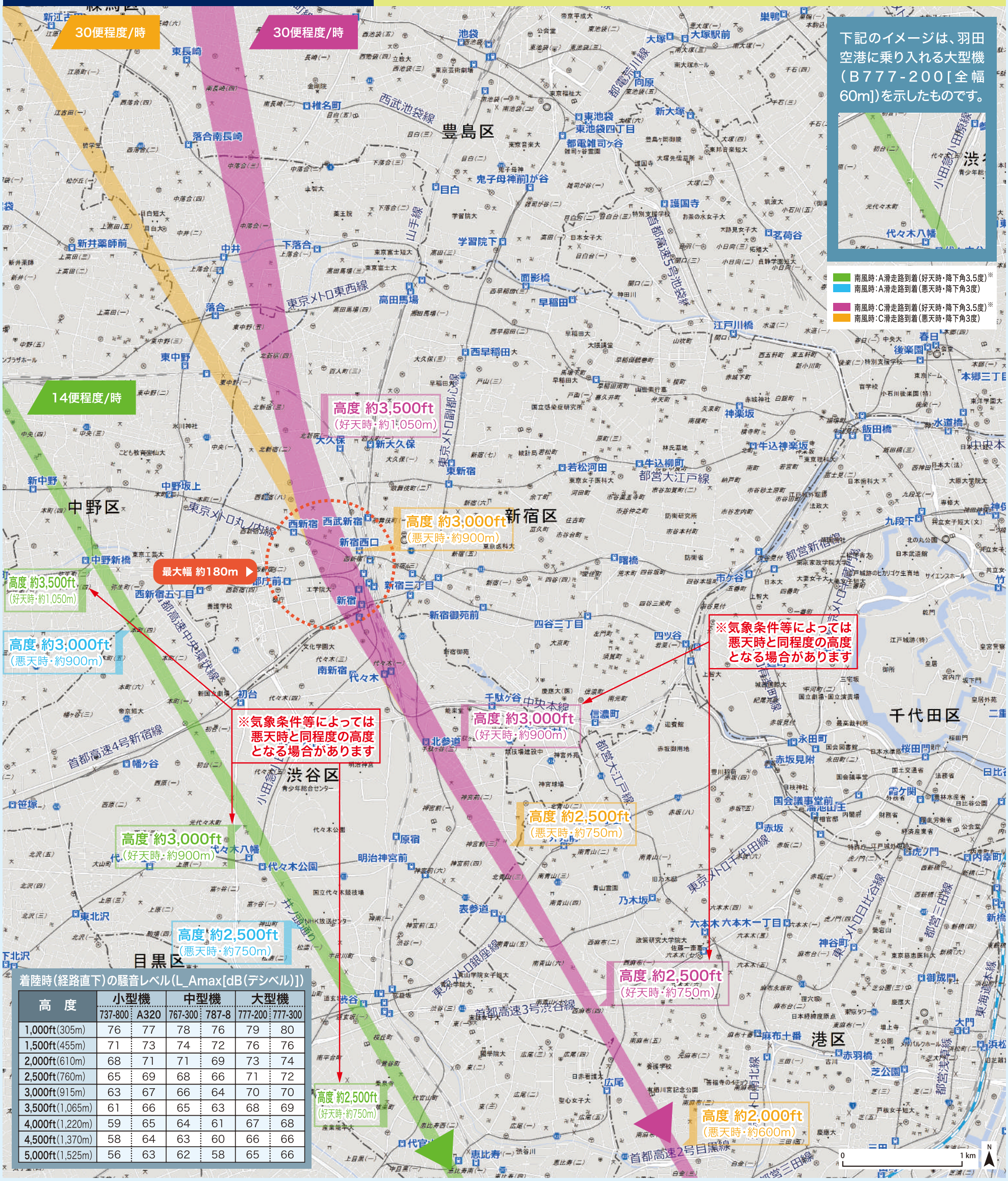
●幹線道路（青山通り沿い）
平均値：約64dB
瞬間最大値：約87dB

※10分程度の簡易測定による参考値

新宿区上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（新宿区上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです
※地図上に記載した各地点の高度（海抜）は好天時（降下角3.5度）、悪天時（降下角３度）での計算上の数値を示したものです



下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機（B777-200[全幅60m]）を示したものです。

- 南風時：A滑走路到着（好天時・降下角3.5度）※
- 南風時：A滑走路到着（悪天時・降下角3度）
- 南風時：C滑走路到着（好天時・降下角3.5度）※
- 南風時：C滑走路到着（悪天時・降下角3度）

着陸時（経路直下）の騒音レベル（L_Amax[dB（デシベル）]）

高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
1,000ft（305m）	76	77	78	76	79	80
1,500ft（455m）	71	73	74	72	76	76
2,000ft（610m）	68	71	71	69	73	74
2,500ft（760m）	65	69	68	66	71	72
3,000ft（915m）	63	67	66	64	70	70
3,500ft（1,065m）	61	66	65	63	68	69
4,000ft（1,220m）	59	65	64	61	67	68
4,500ft（1,370m）	58	64	63	60	66	66
5,000ft（1,525m）	56	63	62	58	65	66

●着陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
●２つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、２つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（西新宿付近）
平均値：約53dB
瞬間最大値：約71dB

●駅前（新宿駅前）
平均値：約71dB
瞬間最大値：約87dB

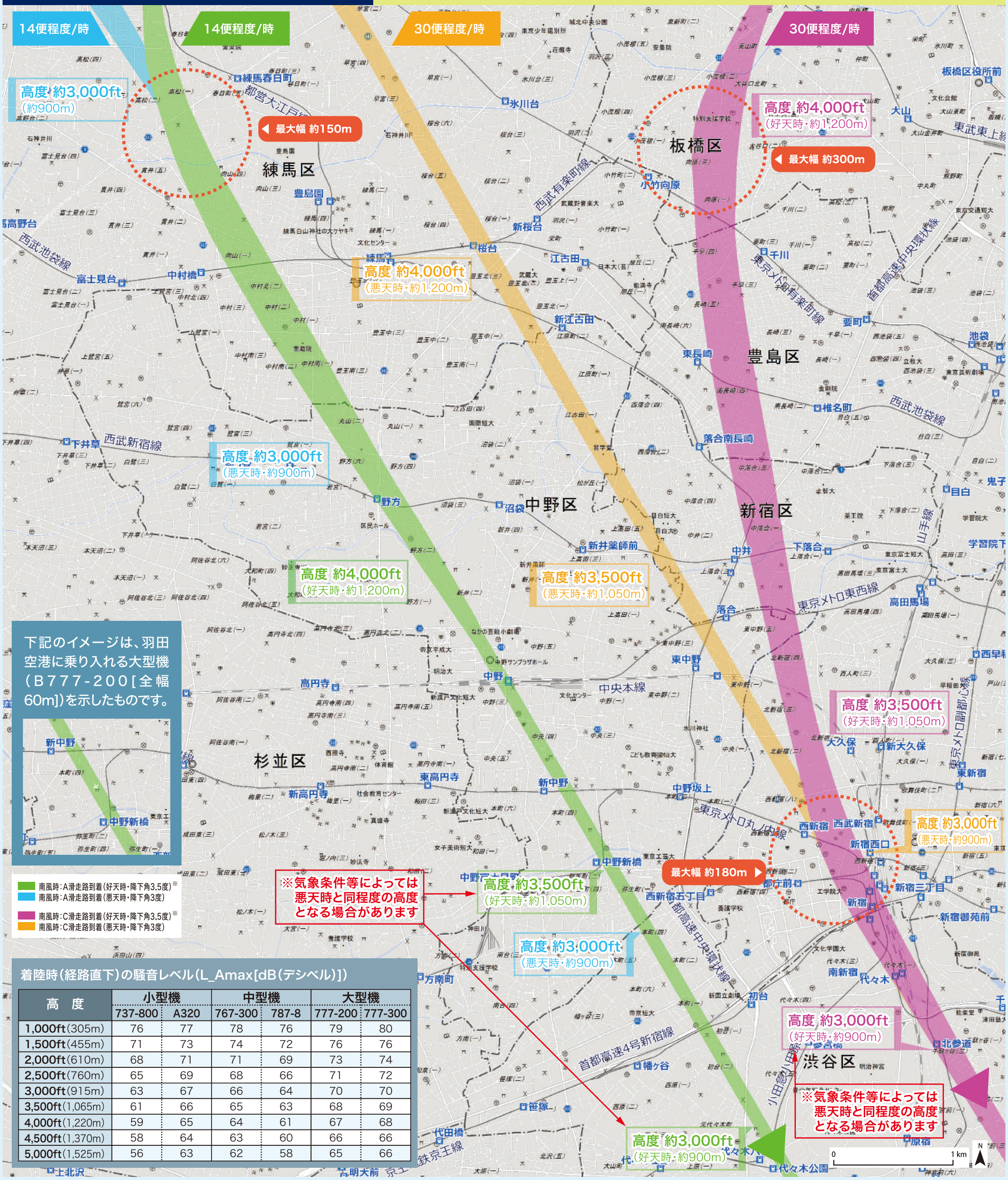
●幹線道路（青山通り沿い）
平均値：約64dB
瞬間最大値：約87dB

※10分程度の簡易測定による参考値

中野区上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（中野区上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです
※各地点の高度（海抜）は降下角（好天時３．５度・悪天時３度）等に基づき計算上の数値を示したものです



下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機（Ｂ７７７-２００[全幅60m]）を示したものです。

南風時：A滑走路到着（好天時・降下角3.5度）※
南風時：A滑走路到着（悪天時・降下角3度）
南風時：C滑走路到着（好天時・降下角3.5度）※
南風時：C滑走路到着（悪天時・降下角3度）

着陸時（経路直下）の騒音レベル（L_Amax[dB（デシベル）]）

高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
1,000ft（305m）	76	77	78	76	79	80
1,500ft（455m）	71	73	74	72	76	76
2,000ft（610m）	68	71	71	69	73	74
2,500ft（760m）	65	69	68	66	71	72
3,000ft（915m）	63	67	66	64	70	70
3,500ft（1,065m）	61	66	65	63	68	69
4,000ft（1,220m）	59	65	64	61	67	68
4,500ft（1,370m）	58	64	63	60	66	66
5,000ft（1,525m）	56	63	62	58	65	66

●着陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
●２つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、2つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（哲学堂公園付近）
平均値：約50dB
瞬間最大値：約66dB

●駅前（中野駅前）
平均値：約61dB
瞬間最大値：約80dB

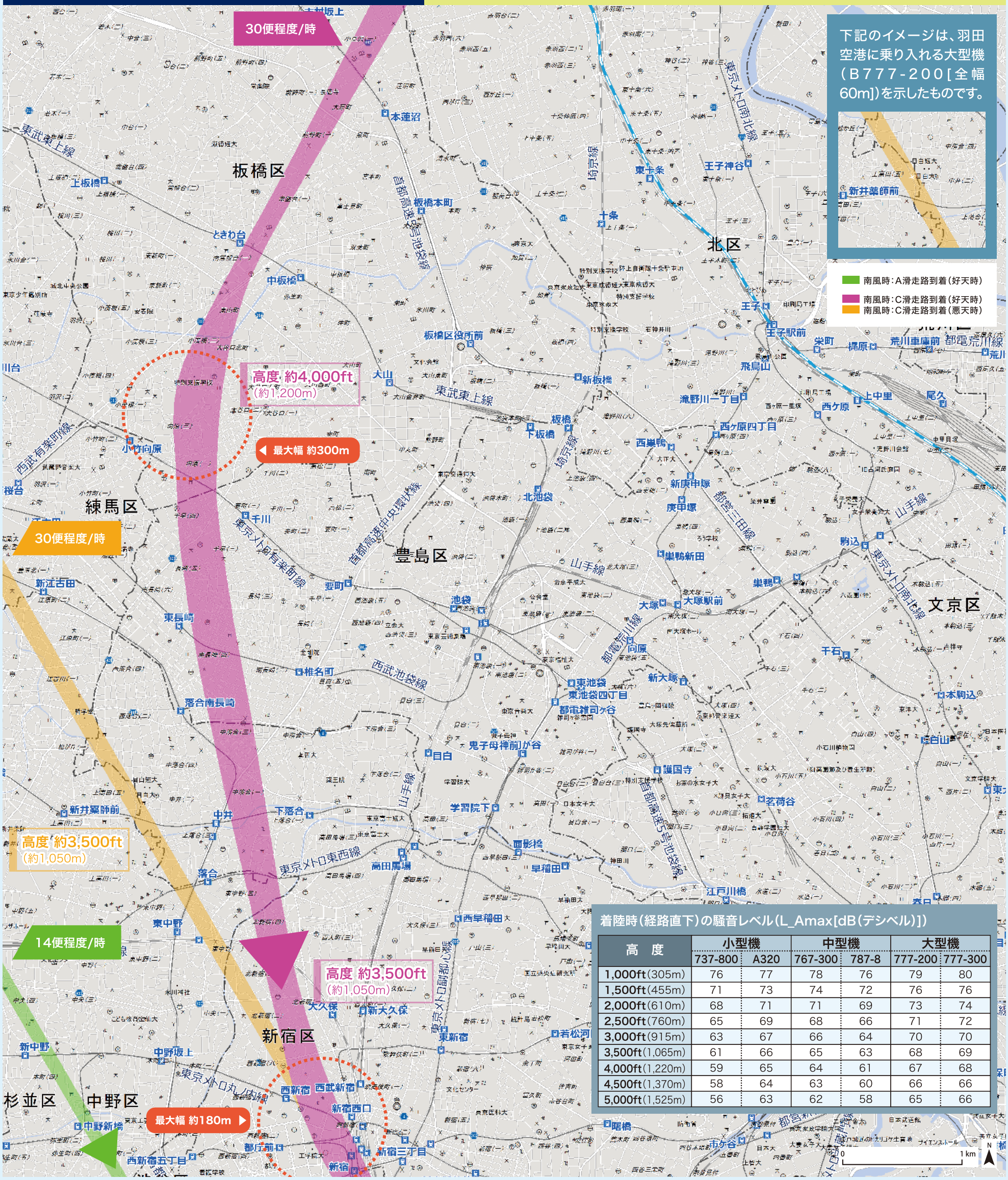
●幹線道路（環七通り沿い）
平均値：約74dB
瞬間最大値：約82dB

※10分程度の簡易測定による参考値

豊島区上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（豊島区上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



着陸時（経路直下）の騒音レベル（L_Amax[dB（デシベル）]）

高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
1,000ft（305m）	76	77	78	76	79	80
1,500ft（455m）	71	73	74	72	76	76
2,000ft（610m）	68	71	71	69	73	74
2,500ft（760m）	65	69	68	66	71	72
3,000ft（915m）	63	67	66	64	70	70
3,500ft（1,065m）	61	66	65	63	68	69
4,000ft（1,220m）	59	65	64	61	67	68
4,500ft（1,370m）	58	64	63	60	66	66
5,000ft（1,525m）	56	63	62	58	65	66

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（豊島区長崎付近）
平均値：約58dB
瞬間最大値：約72dB

●駅前（池袋駅前）
平均値：約67dB
瞬間最大値：約77dB

●幹線道路（目白通り沿い）
平均値：約67dB
瞬間最大値：約87dB

※10分程度の簡易測定による参考値

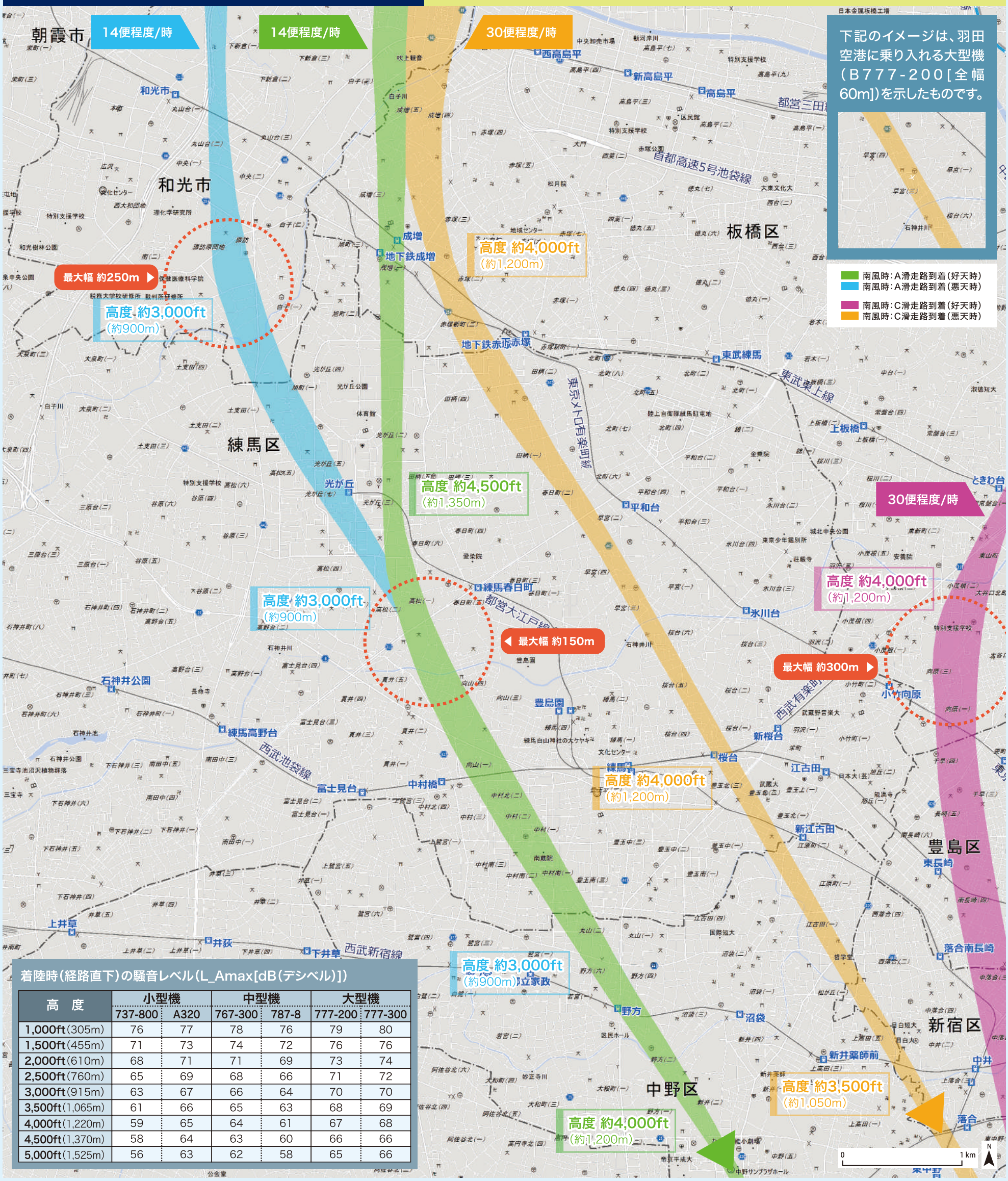
●着陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
●２つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、２つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

練馬区上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（練馬区上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機（B777-200[全幅60m]）を示したものです。

南風時：A滑走路到着（好天時）
南風時：A滑走路到着（悪天時）
南風時：C滑走路到着（好天時）
南風時：C滑走路到着（悪天時）

着陸時（経路直下）の騒音レベル（L_Amax[dB（デシベル）]）

高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
1,000ft（305m）	76	77	78	76	79	80
1,500ft（455m）	71	73	74	72	76	76
2,000ft（610m）	68	71	71	69	73	74
2,500ft（760m）	65	69	68	66	71	72
3,000ft（915m）	63	67	66	64	70	70
3,500ft（1,065m）	61	66	65	63	68	69
4,000ft（1,220m）	59	65	64	61	67	68
4,500ft（1,370m）	58	64	63	60	66	66
5,000ft（1,525m）	56	63	62	58	65	66

●着陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
●２つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、２つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（練馬図書館付近）
平均値：約53dB
瞬間最大値：約68dB

●駅前（光が丘駅前）
平均値：約57dB
瞬間最大値：約80dB

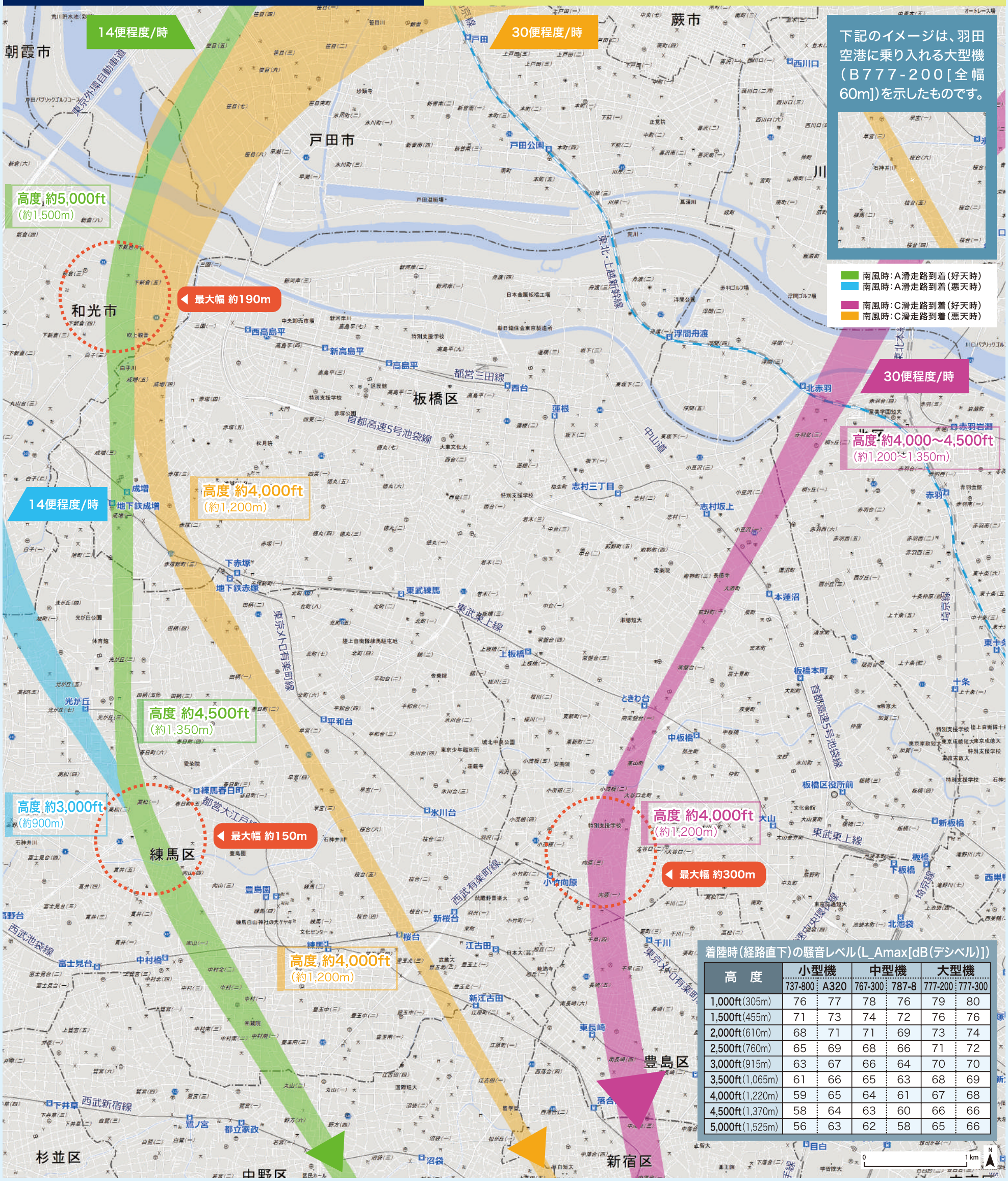
●幹線道路（目白通り沿い）
平均値：約66dB
瞬間最大値：約85dB

※10分程度の簡易測定による参考値

板橋区上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（板橋区上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



着陸時（経路直下）の騒音レベル（L_Amax[dB（デシベル）]）

高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
1,000ft(305m)	76	77	78	76	79	80
1,500ft(455m)	71	73	74	72	76	76
2,000ft(610m)	68	71	71	69	73	74
2,500ft(760m)	65	69	68	66	71	72
3,000ft(915m)	63	67	66	64	70	70
3,500ft(1,065m)	61	66	65	63	68	69
4,000ft(1,220m)	59	65	64	61	67	68
4,500ft(1,370m)	58	64	63	60	66	66
5,000ft(1,525m)	56	63	62	58	65	66

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（板橋区小豆沢付近）
平均値：約64dB
瞬間最大値：約86dB

●駅前（成増駅前）
平均値：約61dB
瞬間最大値：約71dB

●幹線道路（環七通り沿い）
平均値：約72dB
瞬間最大値：約81dB

※10分程度の簡易測定による参考値

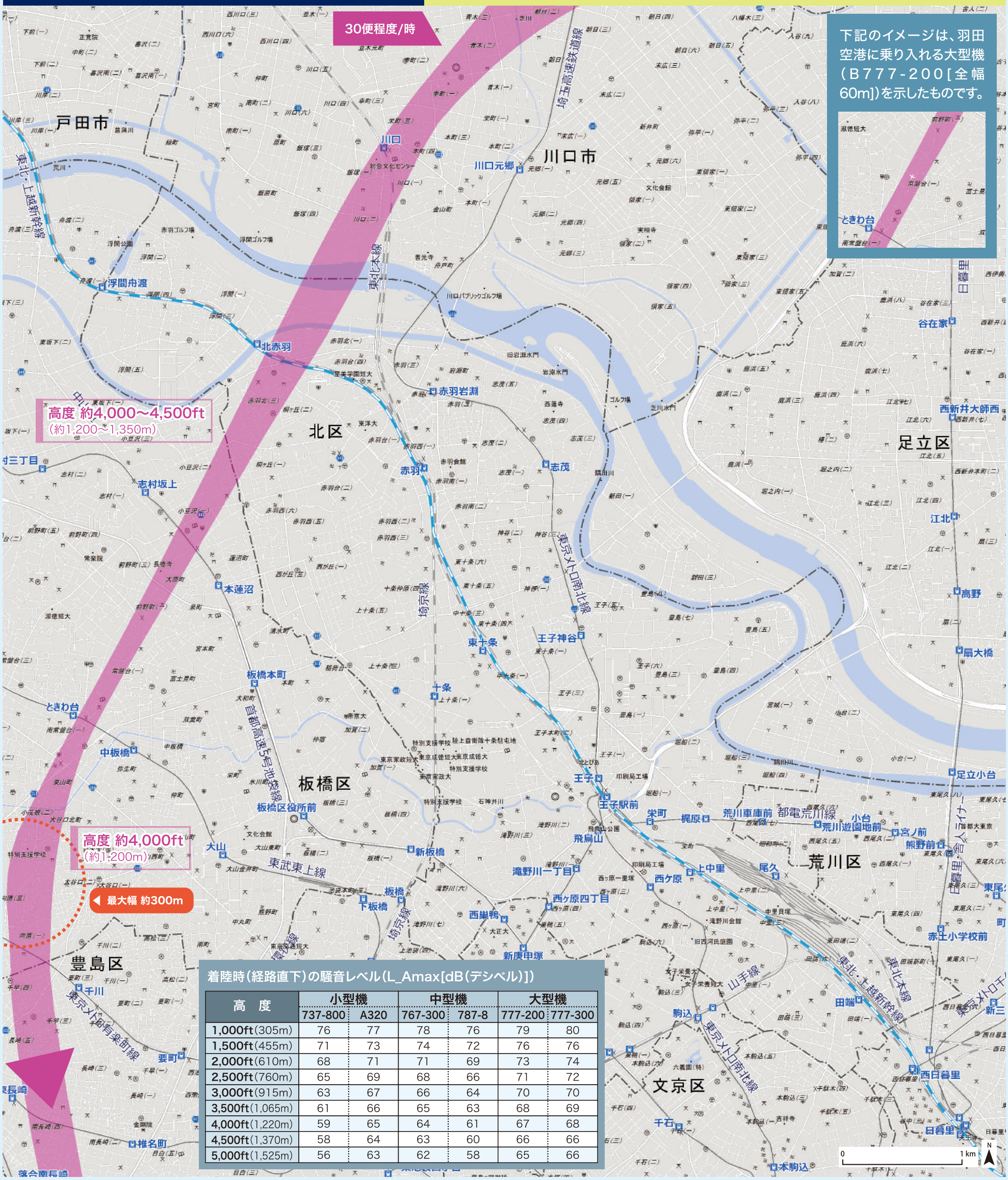
●着陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
●２つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、２つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

北区上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（北区上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



着陸時（経路直下）の騒音レベル（L_Amax[dB（デシベル）]）

高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
1,000ft（305m）	76	77	78	76	79	80
1,500ft（455m）	71	73	74	72	76	76
2,000ft（610m）	68	71	71	69	73	74
2,500ft（760m）	65	69	68	66	71	72
3,000ft（915m）	63	67	66	64	70	70
3,500ft（1,065m）	61	66	65	63	68	69
4,000ft（1,220m）	59	65	64	61	67	68
4,500ft（1,370m）	58	64	63	60	66	66
5,000ft（1,525m）	56	63	62	58	65	66

●着陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
●２つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、2つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（袋町公園付近）
平均値：約54dB
瞬間最大値：約66dB

●駅前（北赤羽駅赤羽口）
平均値：約71dB
瞬間最大値：約87dB

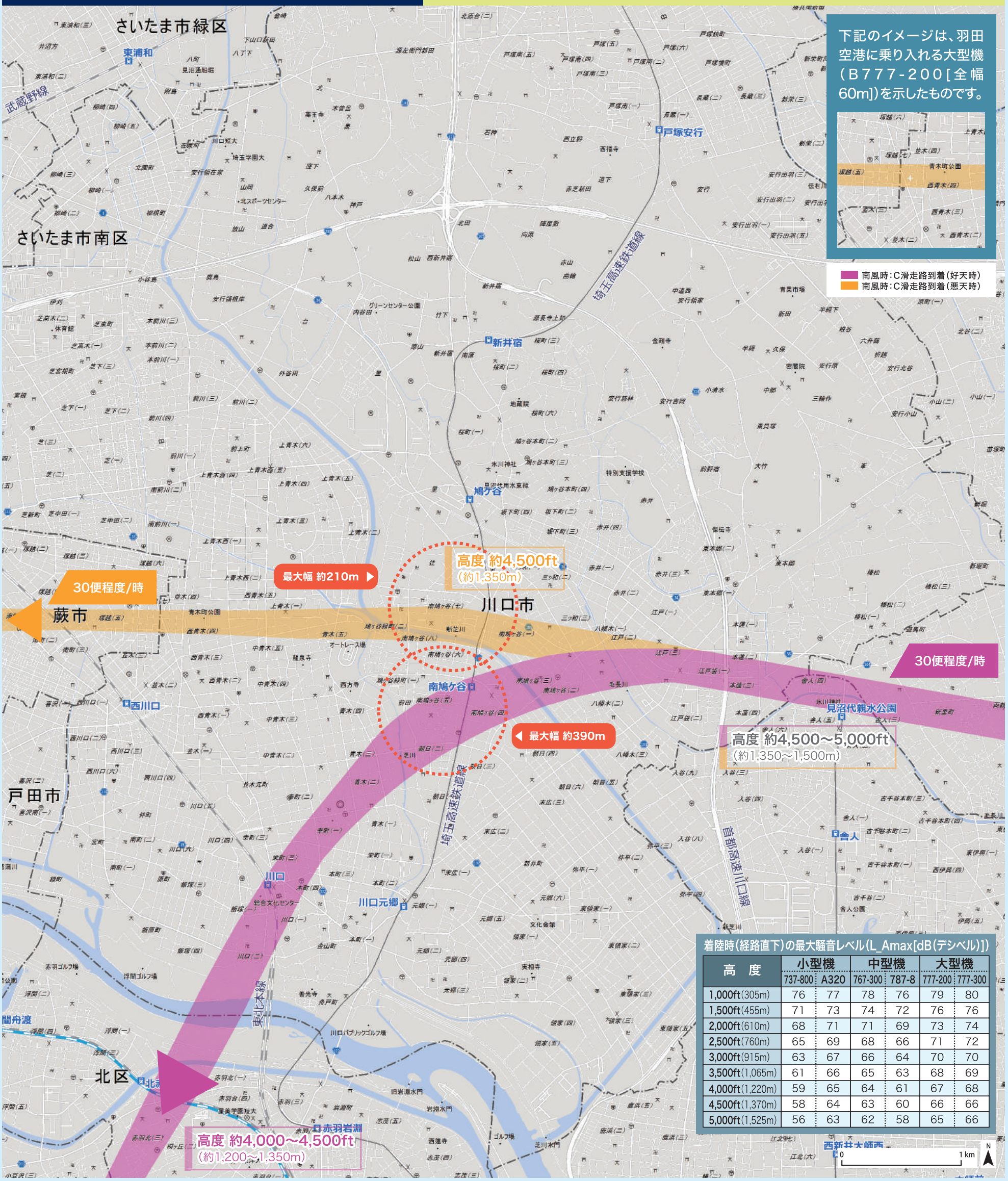
●幹線道路（環状八号と都道447号の交差点）
平均値：約73dB
瞬間最大値：約87dB

※10分程度の簡易測定による参考値

川口市上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（川口市上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機（B777-200[全幅60m]）を示したものです。

南風時：C滑走路到着（好天時）
南風時：C滑走路到着（悪天時）

着陸時（経路直下）の最大騒音レベル（L_Amax[dB（デシベル）]）

高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
1,000ft（305m）	76	77	78	76	79	80
1,500ft（455m）	71	73	74	72	76	76
2,000ft（610m）	68	71	71	69	73	74
2,500ft（760m）	65	69	68	66	71	72
3,000ft（915m）	63	67	66	64	70	70
3,500ft（1,065m）	61	66	65	63	68	69
4,000ft（1,220m）	59	65	64	61	67	68
4,500ft（1,370m）	58	64	63	60	66	66
5,000ft（1,525m）	56	63	62	58	65	66

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

- 電車のガード下 100dB
- 大声、騒々しい工場、パチンコ店 90dB
- 幹線道路、掃除機、騒々しい街頭 70～80dB
- 街路沿いの住宅街 65～75dB
- 通常の話し声 50～70dB
- 静かな事務所内 50dB
- 静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街 30～40dB
- 耳で聞える限界 0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（川口市栄町付近）
平均値：約55dB
瞬間最大値：約74dB

●駅前（川口駅前）
平均値：約65dB
瞬間最大値：約80dB

●幹線道路（岩槻街道沿い）
平均値：約64dB
瞬間最大値：約78dB

※10分程度の簡易測定による参考値

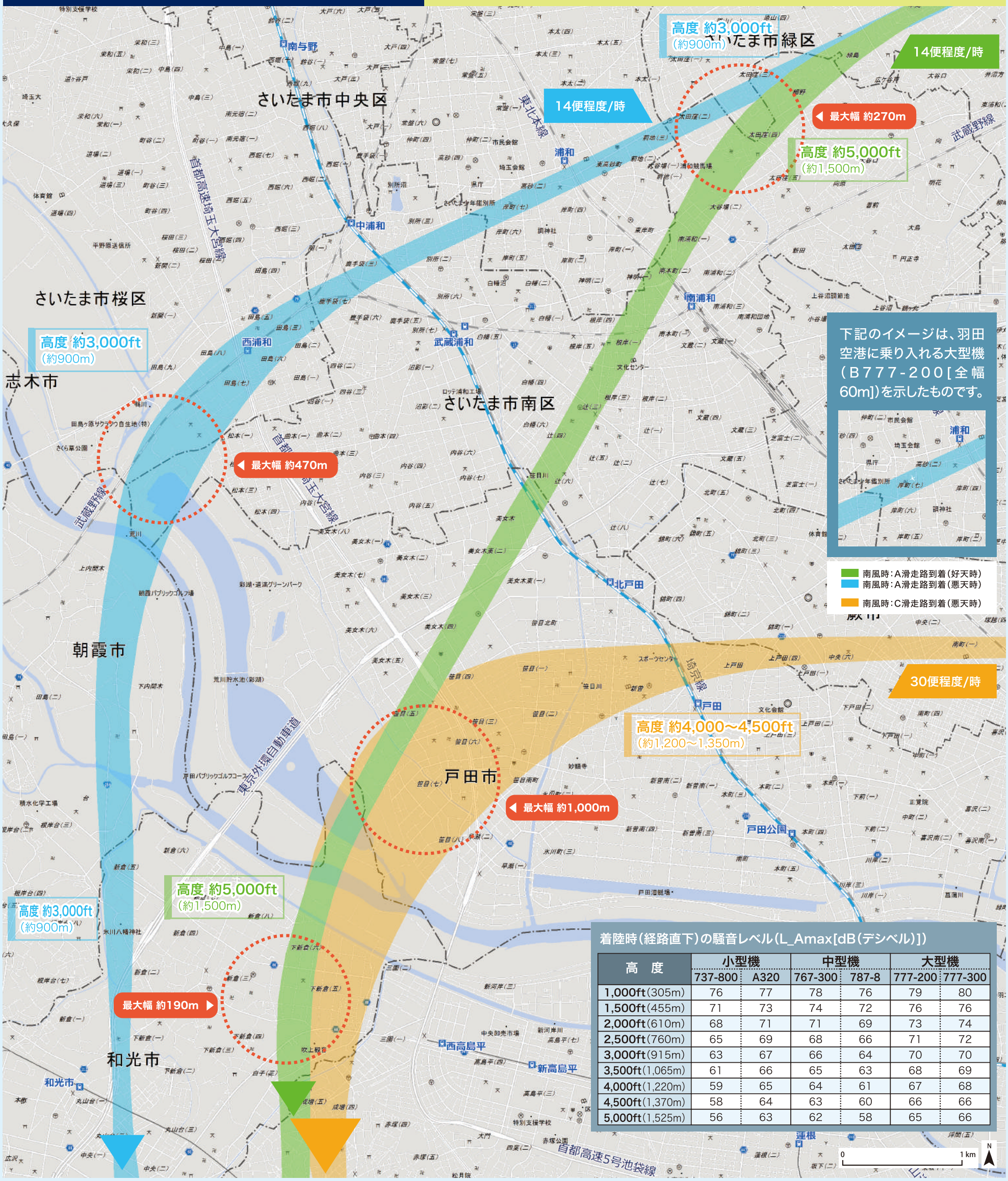
●着陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
●２つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、２つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

戸田市上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（戸田市上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
1,000ft(305m)	76	77	78	76	79	80
1,500ft(455m)	71	73	74	72	76	76
2,000ft(610m)	68	71	71	69	73	74
2,500ft(760m)	65	69	68	66	71	72
3,000ft(915m)	63	67	66	64	70	70
3,500ft(1,065m)	61	66	65	63	68	69
4,000ft(1,220m)	59	65	64	61	67	68
4,500ft(1,370m)	58	64	63	60	66	66
5,000ft(1,525m)	56	63	62	58	65	66

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（戸田市役所付近）
平均値：約50dB
瞬間最大値：約68dB

●駅前（戸田公園駅前）
平均値：約58dB
瞬間最大値：約78dB

●幹線道路（武蔵浦和駅前）
平均値：約64dB
瞬間最大値：約83dB

※10分程度の簡易測定による参考値

●着陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。

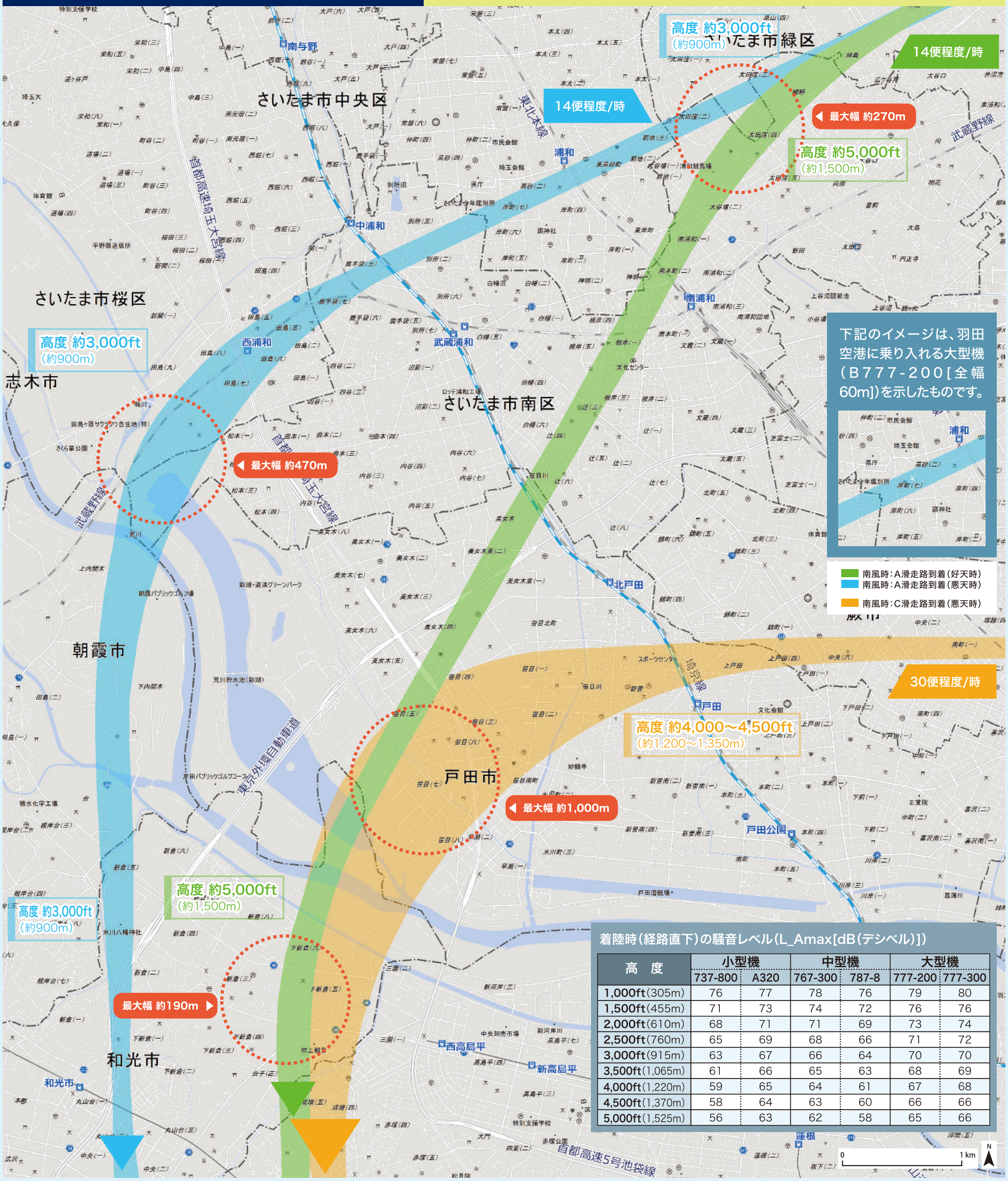
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
●２つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、２つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

さいたま市上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（さいたま市上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



着陸時（経路直下）の騒音レベル（L_Amax[dB（デシベル）]）

高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
1,000ft（305m）	76	77	78	76	79	80
1,500ft（455m）	71	73	74	72	76	76
2,000ft（610m）	68	71	71	69	73	74
2,500ft（760m）	65	69	68	66	71	72
3,000ft（915m）	63	67	66	64	70	70
3,500ft（1,065m）	61	66	65	63	68	69
4,000ft（1,220m）	59	65	64	61	67	68
4,500ft（1,370m）	58	64	63	60	66	66
5,000ft（1,525m）	56	63	62	58	65	66

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

- 電車のガード下　100dB
- 大声、騒々しい工場、パチンコ店　90dB
- 幹線道路、掃除機、騒々しい街頭　70～80dB
- 街路沿いの住宅街　65～75dB
- 通常の話し声　50～70dB
- 静かな事務所内　50dB
- 静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街　30～40dB
- 耳で聞える限界　0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（戸田市役所付近）
平均値：約50dB
瞬間最大値：約68dB

●駅前（戸田公園駅前）
平均値：約58dB
瞬間最大値：約78dB

●幹線道路（武蔵浦和駅前）
平均値：約64dB
瞬間最大値：約83dB

※10分程度の簡易測定による参考値

●着陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。

●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。

●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。

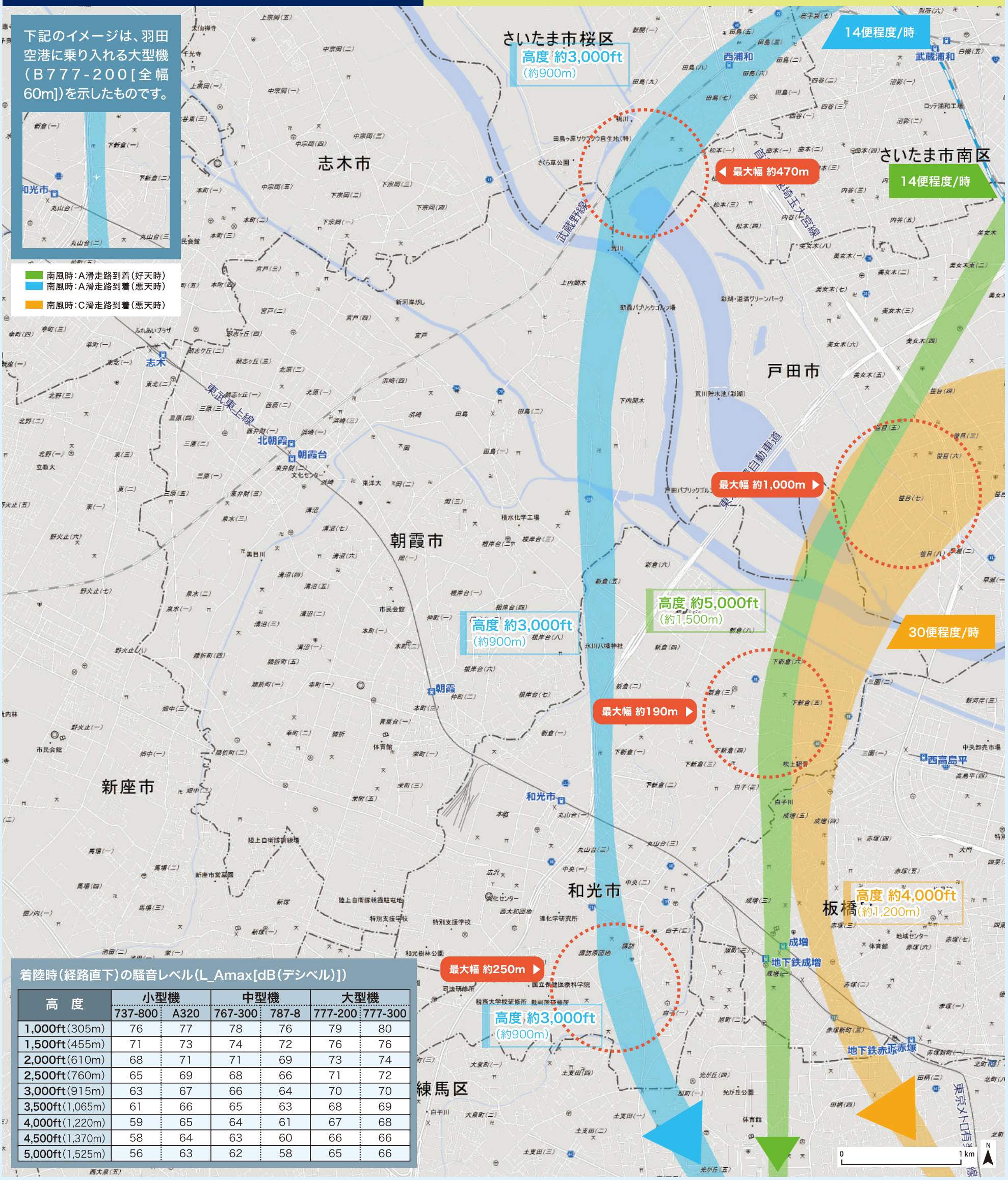
●２つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、２つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

朝霞市上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（朝霞市上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



着陸時（経路直下）の騒音レベル（L_Amax[dB（デシベル）]）

高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
1,000ft（305m）	76	77	78	76	79	80
1,500ft（455m）	71	73	74	72	76	76
2,000ft（610m）	68	71	71	69	73	74
2,500ft（760m）	65	69	68	66	71	72
3,000ft（915m）	63	67	66	64	70	70
3,500ft（1,065m）	61	66	65	63	68	69
4,000ft（1,220m）	59	65	64	61	67	68
4,500ft（1,370m）	58	64	63	60	66	66
5,000ft（1,525m）	56	63	62	58	65	66

●着陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
●２つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、２つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（和光市諏訪原団地付近）
平均値：約53dB
瞬間最大値：約63dB

●駅前（和光市駅前）
平均値：約60dB
瞬間最大値：約71dB

●幹線道路（和光富士見バイパス沿い）
平均値：約67dB
瞬間最大値：約76dB

※10分程度の簡易測定による参考値

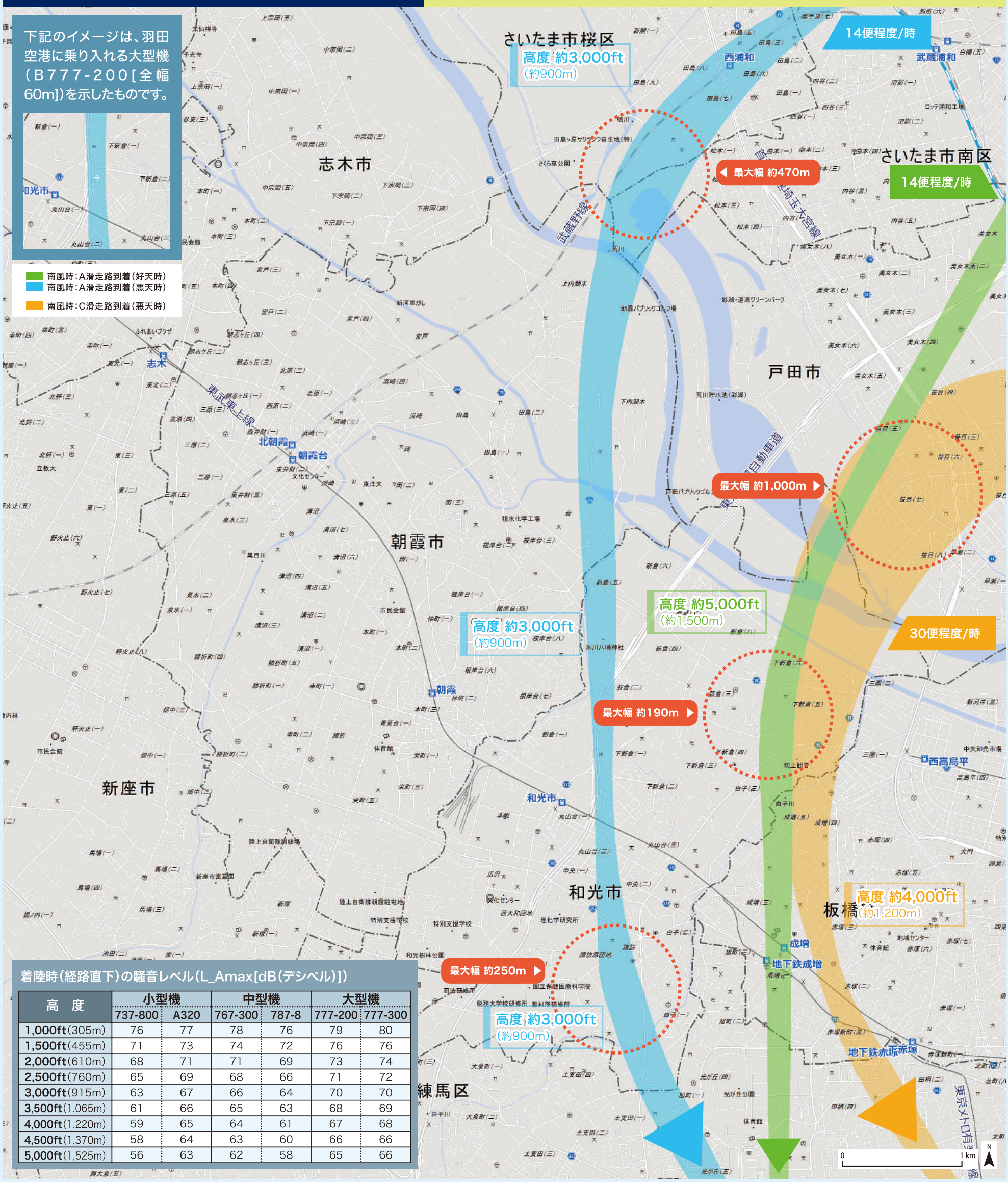
和光市上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（和光市上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです

下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機（B777-200[全幅60m]）を示したものです。

南風時：A滑走路到着（好天時）
南風時：A滑走路到着（悪天時）
南風時：C滑走路到着（悪天時）



着陸時（経路直下）の騒音レベル（L_Amax[dB（デシベル）]）

高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
1,000ft（305m）	76	77	78	76	79	80
1,500ft（455m）	71	73	74	72	76	76
2,000ft（610m）	68	71	71	69	73	74
2,500ft（760m）	65	69	68	66	71	72
3,000ft（915m）	63	67	66	64	70	70
3,500ft（1,065m）	61	66	65	63	68	69
4,000ft（1,220m）	59	65	64	61	67	68
4,500ft（1,370m）	58	64	63	60	66	66
5,000ft（1,525m）	56	63	62	58	65	66

●着陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
●実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
●航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
●２つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、２つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●住宅街（和光市諏訪原団地付近）
平均値：約53dB
瞬間最大値：約63dB

●駅前（和光市駅前）
平均値：約60dB
瞬間最大値：約71dB

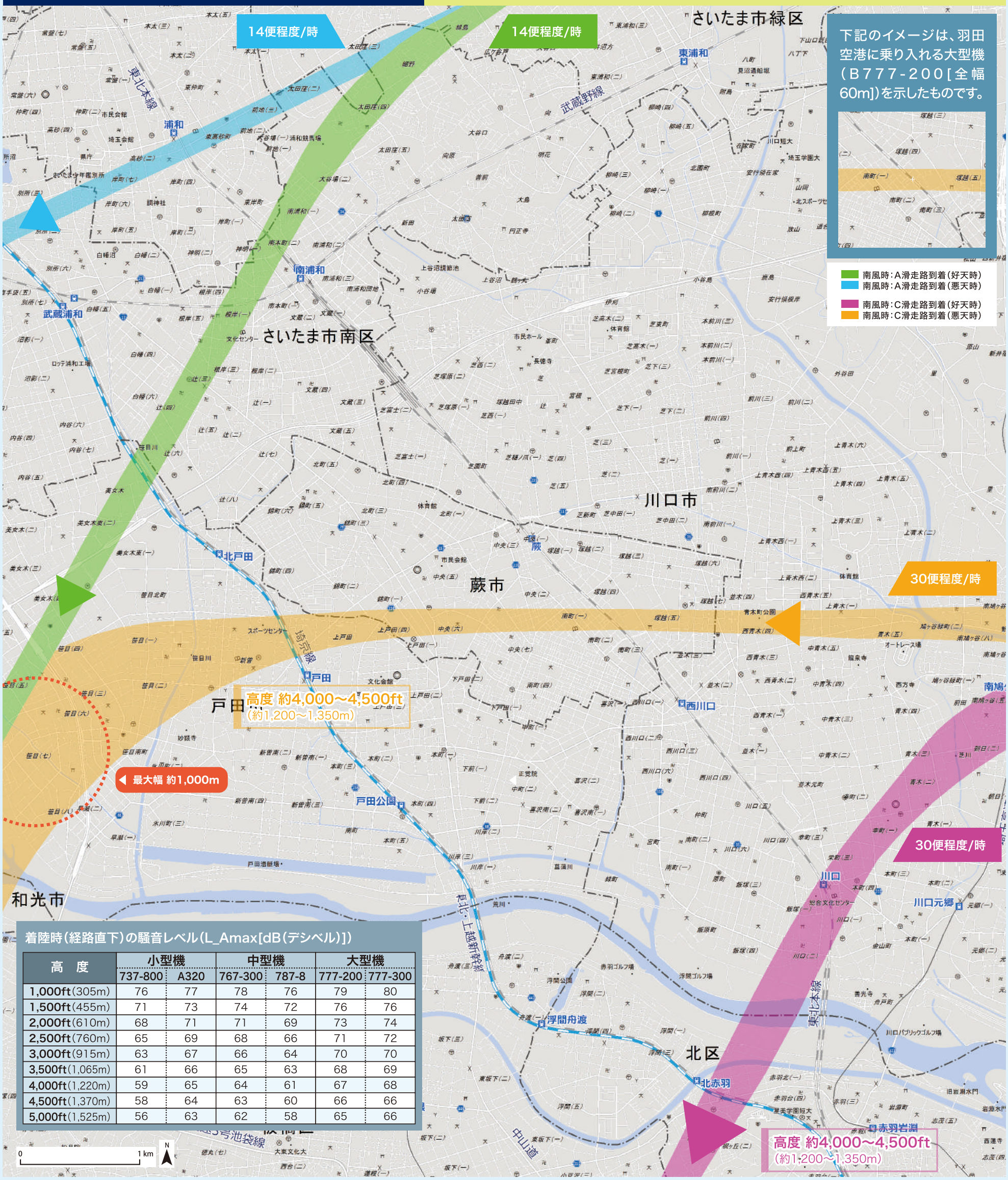
●幹線道路（和光富士見バイパス沿い）
平均値：約67dB
瞬間最大値：約76dB

※10分程度の簡易測定による参考値

蕨市上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定（蕨市上空では着陸機のみ）
運用時間：15時～19時（切替時間を含むため、実質３時間程度の運用）

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路（南風運用）では、全ての着陸便が千葉県上空を通っています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機（B777-200[全幅60m]）を示したものです。

- 南風時：A滑走路到着（好天時）
- 南風時：A滑走路到着（悪天時）
- 南風時：C滑走路到着（好天時）
- 南風時：C滑走路到着（悪天時）

着陸時（経路直下）の騒音レベル（L_Amax[dB（デシベル）]）

高　度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
1,000ft（305m）	76	77	78	76	79	80
1,500ft（455m）	71	73	74	72	76	76
2,000ft（610m）	68	71	71	69	73	74
2,500ft（760m）	65	69	68	66	71	72
3,000ft（915m）	63	67	66	64	70	70
3,500ft（1,065m）	61	66	65	63	68	69
4,000ft（1,220m）	59	65	64	61	67	68
4,500ft（1,370m）	58	64	63	60	66	66
5,000ft（1,525m）	56	63	62	58	65	66

- 着陸時（経路直下）の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値※を推計した値です。
  ※ 航空機１機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
- 実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
- 航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
- ２つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、２つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76～77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位（音圧）。騒音レベル（L_A[dB]）での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft（約305m）、離陸時で2,000ft（約610m）以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
（一財）空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル（L Amax [dB（デシベル）]）

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70～80dB
街路沿いの住宅街	65～75dB
通常の話し声	50～70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30～40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60～80dB

現状（航空機が飛んでいない時）の騒音レベル

●駅前（蕨駅西口付近）
平均値：約63dB
瞬間最大値：約72dB

●住宅街（蕨市民公園）
平均値：約52dB
瞬間最大値：約61dB

●幹線道路（中山道と旧中山道の交差点）
平均値：約72dB
瞬間最大値：約88dB

※10分程度の簡易測定による参考値